

選ばれる園になるためのメルマガ

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



インクルーシブ遊具の増加

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。チャイルドグループの各事業部のノウハウを Q&A 形式でお届けします。

Q 最近、近隣の公園で新しい形の遊具を見かけるようになりましたが、どうしてですか。



デンマーク・コンパニ社のインクルーシブ遊具はアクセスしやすいルート設計や視覚的に認識しやすいデザインはもちろん、ハンディキャップの有無に関わらず誰もがやってみたいあそびやスリルやチャレンジを体験できる環境などを目指して設計されている。

(画像提供元：株式会社ポーネルド)

A nswer



近年、保育の世界でもインクルーシブという言葉を目にします。インクルーシブという言葉は、「ソーシャル・インクルージョン」(社会的包摂)という社会政策の理念からきています。

そしてインクルーシブ遊具とは、体に障がいがないお子さんだけでなく障がいがあるお子さんも、一緒になって遊ぶことができる遊具のことです。

そして、ここ最近ではインクルーシブ遊具を設置している公園が各地域に増えてきており、全ての子どもたちが、共に育つことができるようになっていきます。

近年、「インクルーシブ教育」への関心が高まる中で、インクルーシブ遊具もまた注目を集めるようになっており、地域の公園にも積極的に導入してきています。

誰もが対等に遊びに参加し、相互理解を深め、誰もが危険にさらされることがなく、のびのび遊べるのが遊び場には大切です。その環境の中、誰もがワクワクしながら、自らの世界を大きく広げられるような空間が理想になってくる、自分と異なる様々な他者と遊び接した経験が人生を豊かにする、と考えます。

障がいを持つ子どもそれぞれの困難さや特性について、この社会で生きる一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。

事業部紹介

株式会社 幼保経営サービス コンサルティング部

チャイルド社グループの幼保経営サービスだからこそできる経営コンサルで園を強力にサポートしています。

①経営・運営コンサル ②マーケティング・ブランディングコンサル ③新園・新施設設立コンサル ④認定こども園移行コンサルなどに関して、分析・助言・提案・サポートを行っています。



株式会社 幼保経営サービス

コンサルティング部 ディレクター 東京弁護士会所属 柴田 洋平 (弁護士・保育士)

TEL 03-6915-1910 Email yohokeiei_consulting@child.co.jp

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

